



蒲郡記者クラブ 各位

企画政策課長 小田 剛宏
環境清掃課長 千賀 保幸

蒲郡市とパナソニック株式会社との連携協定の締結について

蒲郡市とパナソニック株式会社は、循環型社会及びサーキュラーシティの推進を図るため下記のとおり連携協定を締結いたします。

記

1 締結日

令和5年8月4日（金）

2 協定締結者

パナソニック株式会社
エレクトリックワークス社
所在地：大阪府門真市大字門真1048

3 協定内容

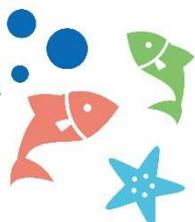
蒲郡市は、令和3年3月に2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにするまち「ゼロカーボンシティ」を宣言し、令和3年11月にサーキュラーエコノミーを積極的に推進していく都市である「サーキュラーシティ」を目指すことを表明しました。

アクションプランでは、サーキュラーシティ蒲郡の重点分野の一つである「ものづくり」分野の目指す姿として、「設計から生産、利用、廃棄までのライフサイクル全体を見据えた循環性の高いビジネスモデルへの転換」を掲げています。

本協定は、サーキュラーシティの実現のため、循環型社会・サーキュラーエコノミーを推進するとともに、蒲郡市、パナソニック株式会社がそれぞれの資源及びネットワークを有効に活用することにより、地域の課題解決・地域の活性化を図ることを目的としています。

《連携事項》

- (1) 循環型社会・サーキュラーエコノミーの推進に関する事
- (2) 地域の活性化に関する事
- (3) その他、本協定の目的を実現するために必要な事項に関する事



4 取組み内容

本協定に基づき、以下の取組等を進めていきます。

(1) 循環型社会・サーキュラーエコノミーの推進に関すること

LED照明は、従来の蛍光灯に比べ消費電力が低くかつ長寿命であるため、節電によるCO₂排出量と資源利用量を削減することが期待できる、環境に適した製品です。しかしながら、まだ利用できるにも関わらず、建物の改装と共に廃棄されてしまうケースなどもあるのが現状です。

最後まで良い状態と経済価値を保ったまま利用できる「将来のサーキュラーエコノミー型照明」について、サーキュラーエコノミーの原則（修理、再利用など）に基づいて市内の代理店様、電気工事業者様と共に製品に関する課題を検討しつつ、資源の有効活用による廃棄物削減とエネルギー利用に伴うCO₂排出量削減への貢献を目指します。

(2) 地域の活性化に関すること

連携者間および市行政・市民の皆様と交流や情報共有の場で得られた意見を踏まえながらくらしに欠かせない「あかり」について検討を推進します。また、専門性・各種の強みをお持ちの市内事業者様とのパートナーシップの形成、活動内容の分担・連携を通じて、照明器具の長期利用、再利用、資源再生等のしくみを検討し、サーキュラーシティの推進を図ります。

問合せ先

企画政策課サーキュラーシティ推進室 羽田野・杉浦

Tel 0533-66-1226

環境清掃課ゼロカーボンシティ推進室 西浦・森

Tel 0533-57-3645

